



うざわ恵一 NEWS

Vol.1 2024年2月発行

ひたちなか市議会議員 うざわ恵一の活動報告です

昨年は大変お世話になりました。年明け早々、能登半島地震が発生し今もなお大変な思いの方々がいらっやいます。心よりお見舞い申し上げます。ひたちなか市も他人事ではありません。防災を大きなテーマの一つとして取り上げて参ります。今年もよろしくお願ひします。

12月定例議会（令和5年12月12日）で4つの一般質問を行いましたので、ご報告いたします。



質問1

雨のときの道路冠水対策はどうなっているか？

- ①市内の冠水被害対策についての予定およびその進捗について
- ②冠水被害にあっている市民に対して、市の対応を知らせる計画はあるか？

①「中丸川流域における浸水被害軽減プラン」に基づき事業を進めている。

【下水道について】雨水幹線（高場及び大島地区）や高場流域雨水調整池、及び田彦小雨水貯留施設の整備。令和4年度末まで、雨水幹線整備の進捗率は32.7%。高場流域雨水調整池は用地交渉中。田彦小雨水貯留施設は地下貯留施設が完了し、グランド地上貯留施設の整備中【河川について】中丸川改修・多目的遊水地整備及び大川改修。中丸川改修は6.4kmに対して3.7km完了。多目的調節池は整備中。大川改修は進捗率は49.4%。

②治水対策の広報としては、那珂川緊急治水対策推進室を設置。「ひたちなか治水便り」を発行（現在第32号）。情報発信については市HPおよびLINEで閲覧可能。HPでは河川に関するお知らせ、水防・ハザードマップも。市民からの情報提供はLINEで降雨状況や周辺の浸水状況などの情報提供を得、現地を確認している。



建設部長



年配者はLINEやSNSなどにアクセスできない方が殆どだった。私は直接対面で「困っている」という声を多く聞いており市の取り組みがなかなか伝わっていない気がしている。伝えていく努力もしていくべき。



質問2

小学生の通学路の安全は大丈夫か？

田彦小学校（児童数約850人）の通学路は決して安全とはいえない。

- ①通学路での安全対策は？
- ②市・学校・PTA・子供会などの横の繋がりが必要では？



①市民による報告や各学校による調査により危険箇所を把握。その後警察署などにより横断歩道の設置や路面標示などの必要な対策を講じている。また各学校では交通安全教室のほか、道路の横断の仕方や自転車の安全な乗り方などの教育にも取り組んでいる。

②「地域で支える生徒指導推進事業」を立ち上げ、自治会、保護者、学校、警察などが協力し、登下校の安全指導、交通安全教育、通学路の安全点検、防犯パトロールなどを行っている。更に学校運営協議会を全ての小中学校、義務教育学校に設置した。



教育部長



縦割りの組織はあるが、効果が得られておらずカラ回りしている印象が大きい。「児童の通学路の安全確保」に関してだけ、考える場があってもいいのでは。多彩な方面の人たちが多面的な視野で柔軟に対応してほしい。



質問3

原発再稼働についての市民の声を聞くことは？

- ①「直接」市民の声を聞くことを考えているか？
- ②考えているのであれば、その形式は？

①日本原電が再稼働をしようとする時には本市を含む6市村の事前了解を得なければならない。そしてその際求められることは市として安全対策だけでなく市民の安全確保についても判断していくべきものだ。再稼働に対しては賛成反対の単純な二者択一には収まらない様々な立場や考え方がある。そして議員や私が議会において議論すること自体が民意を反映しており、その議論を通じて再稼働問題への認識が深まっていくものではないか。今後も民意の把握の方法など検討していくが、まず避難計画など必要な情報を市民に提供していくことが重要。



市長



市民自体が原発問題に関して何ら知らされていないのが事実ではないか。そこで市民自分たちがどう考えるのかを市が積極的に機会をつくるのも大事ではないか。原発関係で働いている人がいる半面、原発そのものに危機感を持っている人もいる。そういう人たち同士での議論も噛み合っておらず、原発問題の存在自体知らない人たちもいる。なので自分たちの問題として自分事として考え、自分たちはどうするのかという意見や議論を活性化するようなことを目的にアンケート等を企画してはどうか。

民意の把握についてはいろいろと手法があるが、まずは判断材料、情報を提供していくことが大事。議会便りや市制懇談会などの機会を通して情報をしっかり発信していきたいと考えている。



市民生活部長



質問4

田彦交差点を使いやすい形に

田彦交差点は交差点の形状が変則的なため、慢性的な渋滞ポイントとなっている。

①田彦交差点に関する道路の改修予定および進捗について

②当分工事できない場合、一時的な交通規制によって改善を図る予定はないのか？



①田彦交差点は、関係する道路中心線同士がずれて交錯する四差路交差点となっている。見通しが悪く以前から事故や渋滞が発生している変則的で危険な交差点であることは認識している。以前は地権者の理解が得られず計画が中断した。しかし令和元年5月にひたちなか警察署長より「田彦交差点の道路改良に関する要望書」が提出され付近の地権者の理解が得られ、作業に着手できた。現在の進捗状況については、測量・設計等の作業が終了し、国交省や県警察本部と協議を進めている。今後は用地取得を進め令和8年度に工事を着手する計画。改良後は道路中心線を合わせた十字路となり那珂市方面からも右折レーンを設置する。②交通規制については令和5年8月から信号機の赤信号点灯時間を調整して右折車両の通行改善を図っている。



建設部長

最近の活動から

1 地元の皆さんの声を

田彦中学校区を中心に市民の皆さんの声をきいて回ります。実際に困っていること、不便に感じていることなど実際にお聞きします。



2 朝の挨拶運動

基本毎朝、7:00～8:30に外野跨線橋西交差点で子供たちの立哨も兼ねて挨拶運動をしています。挨拶を返して下さる方も少しずつ増えてきました。



3 現地調査など

問題になっている現地で調査したり、市役所・警察署などでヒアリングをします。



4 学習活動

まだまだ知らないことも多いので、空いた時間はなるべく学習するようにしています。また、次回の定例会に備えて、一般質問の準備をします。



市民のみなさんの声が届いています

- ・自宅前の道路冠水を何とかしてほしい。
- ・危険なので、点滅信号でなく普通の信号機を設置してほしい。
- ・下水道を延伸してほしい。
- ・田彦小前の道路を整備してほしい。

その他、さまざまなお意見をいただいております。

「ご意見・ご要望」ページ
お寄せください



メールで
uzawa717@gmail.com



電話で 090-3964-0017



web サイトから
「ご意見・ご要望」フォームから



FAXで 029-270-2560
お名前、お住まい、電話番号、FAX番号をお書きの上、ご連絡ください。

- ・保護猫を飼い始めました。母猫と子猫3匹です。
- ・能登半島地震。毎年どこかで甚大な被害が。災害は防げなくとも効率的・合理的な被災者対策を考えます。
- ・ひたちなか市議会。1年生議員ならではの感じたこと。これからもお伝えしていきたいと思っています。



鵜澤 恵一

うざわ けいいち

1959年7月千葉県生まれ

ひたちなか市田彦在住

090-3964-0017

<https://k-uzawa.com>

SNSも毎日配信中



議会を傍聴に行こう！次の議会（一般質問）は2024年3月13,14日の予定です。（議事堂は市役所行政棟隣接）